学習の指針　(シラバス)

教科名	理　科	実施学年	３年	週時数	４時間

1　学習の目標等

学習の目標	(1) グループの話し合いにより学習を深められる。 (2) 継続的な観察ができる。 (3) 観察や実験から３つ以上の要素が関わる関係を見つけ、法則、モデル、概念を使って考えを進められる。 (4) 発表やレポートなどで、自分の考えや気づいたことを、根拠、具体例、図、グラフを使い、論理の展開を工夫して、効果的に表現できる。 (5) 実験器具を正しく使い、実験観察の記録（文章、スケッチ、表、グラフ）を正確にとれる。 (6) 教科書の太字部分をしっかり身につける。
使用教科書・副教材等	大日本図書　理科の世界３(教科書)、理科の学習３(明治図書)

2　(1)学習計画及び評価方法等〈6 月 1 日現在〉

	月	学習内容	学習のねらい	備　考	評　価
第1学期	6 7 8	単元１ 運動とエネルギー １章　力のはたらき ２章　物体の運動 ３章　仕事とｴﾈﾙｷﾞｰ 終章　ｼﾞｪｯﾄｺｰｽﾀｰ	・力の表し方を知る。 ・力のつり合い・合成・分解での力の関係を実験と作図から発見する。 ・記録タイマーを使っていくつかの運動について調べる。 ・速さ、質量とエネルギーのように３つの要素が関わる現象を調べる。 ・太陽の観測（夏至） ・エネルギーの概念を身に付けエネルギー概念でジェットコースターなどの現象を考える 。	作図・考察 作図・考察 継続観察 作図・考察	ﾜｰｸｼｰﾄの評価は年間を通して常時行います 定期テスト
2学期	8 9	自由研究 (授業の進度による) 単元２ 生命の連続性 １章 生物の成長とふえ方 ２章遺伝の規則性と遺伝子 終章遺伝子技術について調べよう	・自分で課題を設定し研究する。 ・細胞の観察をし、観察力をつける。 ・生物が成長することと細胞との関係について観察を通し学ぶ。 ・生物のふえ方を細胞で考える。 ・遺伝の規則性を学ぶ。 ・太陽の観測（秋分）	観察 継続観察	自由研究発表内容
	10	単元３ 自然界のつり合い １章生物同士のつながり ２章自然界を循環する物質	・生物どうしのつながりを考え、生物界全体をひとまとまりとして見る視点を身につける。	考察	
	10 11	単元４ 化学変化とイオン １章水溶液とイオン ２章　化学変化と電池	・色々な水溶液で、電流が流れるかを確認する。 ・原子とイオンの構造を学ぶ。 ・イオンのモデルを使ってイオンに関する現象を考察する。 ・化学電池の仕組みについて学ぶ。	実験・考察	定期テスト

		３章　酸・アルカリとイオン 終章　中和をイオンで考える	・酸性、アルカリ性の現象をイオンのモデルを使って考える。 ・中和の現象をイオンのモデルを使って考える。		定期テスト
３学期	12 1	単元５ 地球と宇宙 １章　天体の１日の動き ２章　天体の１年の動き ３章　月と惑星の運動 ４章　太陽系と銀河系 終章　太陽の位置から方角を知る。	・継続観察の結果を使い、学習を進める。太陽の観測（冬至） ・地球の自転や公転と太陽の動きや季節の変化とを関連づけて考える。 ・地球の自転や公転と星の動きを関連づけて考える。北の星、南の星の観察 ・太陽、月の性質を知り月の見え方を考える。 ・太陽系や宇宙のつくりを知り、金星の見え方を考える。 ・太陽や月の見え方で、方角や日にちを知る方法を考える。	継続観察 継続観察	定期テスト
	2 3	単元６　地球の明るい未来のために－自然と人間と科学技術－ 1章 自然環境と人間のかかわり ２章くらしを支える科学技術 ３章 たいせつなエネルギー資源 終章　これからの暮らしを考えよう	・現在の自然環境を知り、人間と自然との共存について考える。 ・科学技術の発達と自然環境の調和について、自分の考えをまとめる。 ・エネルギー資源の現状を知り、人間と地球のかかわりを考える。 ・環境問題解決を目指した今後の生活を考える。		

３．評価について

（１）評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
自然事象への関心・意欲・態度	自然事象に進んで関わり、問題を見出し意欲的に学習する。	定期テストの関心の問題 家庭学習ノート、ワーク提出 自由研究(授業の進度による)
科学的な思考・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの思考の問題 ☆授業ワークシートでの考察 ☆授業での発言に見られる考察 自由研究(授業の進度による)
観察・実験の技能	観察実験技能を習得している。 現象を正しくとらえて記録することができる。	定期テストの技能の問題 ☆授業ワークシートでの観察記録
自然事象についての知識・理解	自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの知識の問題 小テスト

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

（２）観点別評価からの評定の算出の仕方

A=３点、B=２点、C=１点として４つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	１２点
4	１０～１１点
3	７～９点
2	５～６点
1	４点